

令和4年度 気仙沼高等学校(全日制)「志教育」年間指導計画

3つの視点			かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす			
各教科指導目標	国語	○	○		地理歴史	○	○		公民	○	○	○	数学	○	○	○	理科	○	○	○
	言語文化に対する関心や理解を深めるとともに言語感覚や思考力、創造力を育成し、言語活動を通じて相互伝達、相互理解を高める態度を養う。			様々な社会的事象を歴史的過程と地域的特色の角度から考察し、異文化理解を深め、国際社会に向かって積極的に貢献しようとする資質を養う。			複雑な現代社会の仕組みを主体的に考察させ理解を深めるとともに、先哲の考えを取り入れながら他者を尊重し、主体的に社会に貢献しようとする公民的資質を養う。			数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、数学的根拠に基づいて判断する力と問題解決能力を育てる。			科学的な自然観を総合的に身につけることにより、自然と人間の密接な関わりを探究し、実験や観察などを通して、探求する能力や態度を育てる。							
	保健体育	○	○		芸術	○	○		外国語	○	○		家庭	○	○		情報	○	○	○
	生涯にわたって、豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てるとともに、健康の保持・増進のための実践力の育成と明るく活力ある生活を営む態度を育てる。			芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。			外国語を通じて、外国の言語や文化に対する理解・関心を深めるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。			社会と家庭とのかかわりについて理解を深め、生活に必要な知識と技術を取得させるとともに、これからの生活を展望して、課題を持って生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。			情報化と社会との関わりについて理解させるとともに、情報技術を適切に活用する能力を養い、高度情報通信社会に対応できる態度を育てる。							
学年共通					かかわる	もどめる	はたす	各学年指導目標												
指導内容	自学・自習の習慣化			○	○		1年	○気高生としての自覚を高める。基本的な生活習慣を確立させ、自律心を育てる。 ○自己理解を深化させながら職業・学問に対する関心を高める。												
	面接指導の推進			○	○			2年	○自己理解の深化を図り、将来への希望をもたせる。 ○職業・学問研究に取り組みせ、広い視野をもたせる。											
	挨拶の励行			○	○				3年	○自分の適性を的確に判断し、未来を創造する視点に立ち進路を決定する。 ○自らの進路目標に向かって謙虚に学び、主体的・継続的に努力する。										
	学習記録の活用			○	○			1年		○自分の適性を的確に判断し、未来を創造する視点に立ち進路を決定する。 ○自らの進路目標に向かって謙虚に学び、主体的・継続的に努力する。										
	部活動の活性化			○	○					2年	○自分の適性を的確に判断し、未来を創造する視点に立ち進路を決定する。 ○自らの進路目標に向かって謙虚に学び、主体的・継続的に努力する。									
	校外の美化			○	○				3年		○自分の適性を的確に判断し、未来を創造する視点に立ち進路を決定する。 ○自らの進路目標に向かって謙虚に学び、主体的・継続的に努力する。									
	震災交流の活用			○	○					1年	○自分の適性を的確に判断し、未来を創造する視点に立ち進路を決定する。 ○自らの進路目標に向かって謙虚に学び、主体的・継続的に努力する。									
小中学校との交流			○	○		2年	○自分の適性を的確に判断し、未来を創造する視点に立ち進路を決定する。 ○自らの進路目標に向かって謙虚に学び、主体的・継続的に努力する。													
指導内容			ねらい				指導教科等		実施時期		時数	かかわる	もどめる	はたす						
1年	スタディーサポート			学習習慣・意識・生活状況を振り返り、高校生活のスタートにあたっての目標を立てる。			総探		4・10・3月		9		○	○						
	入学生指導(校歌指導・服装指導・挨拶指導)			気高生としての自覚を高める。基本的な生活習慣の確立。自律心を育てる。			特別活動・総探		4月	9	○	○	○							
	自己理解・ジブラボ			科学的論理に基づいた自己分析を通し進路適性についての課題を意識させる。			総探		4月	1	○	○	○							
	地域清掃			通学路の清掃等、ボランティア活動を通し、社会貢献の精神を養う。			学年行事		10月	1	○		○							
	進路講話			講話を通じて今後の学習法や模試活用などを通して、将来の進路についての考えを深める。			総探		9月	2	○	○	○							
	類型選択に関するガイダンス			自己理解、職業研究をもとに自己の将来像について考え、適切な進路意識を育てる。			総探		6・9月	2	○	○	○							
	地域社会研究			研究発表を通し、プレゼン力や言語能力を高め、人との関わりを強める。			地域社会研究		5月～2月	60	○	○	○							
	先輩から学ぶ			先輩の経験談を聞き、自分の進路についての考えを深める。			総探		1・3月	2	○	○	○							
震災・防災学習			大震災の経験を素材とする学びで、自身が果たすべき役割と自己有用感の意識を養う。			地域社会研究		6月～11月	6	○	○	○								
2年	スタディーサポート			学習習慣・意識・生活状況を振り返り、進路に向けての目標を立てる。			総探		8月・3月	2		○	○							
	課題研究・課題研究Ⅰ			興味・関心のある事について研究する。研究を発表することでプレゼンや言語力を高める。			総探・課題研究Ⅰ		5月～2月	27 (課研Ⅰ 95)	○	○	○							
	オープンキャンパス			希望進路先を訪問し、最終進路設定の参考にする。(オンラインも含む)			学年行事		通年	4		○	○							
	地域清掃			通学路の清掃等、ボランティア活動を通し、社会貢献の精神を養う。			学年行事		7月	1	○		○							
	志望理由書			3年次の始めをイメージし、過去・現在・未来を具体化する。			LHR		1月～2月	2	○	○	○							
	進路別ガイダンス			自分の進路に合わせた具体的な説明により、進路意識の高揚を図る。			総探・学年行事		6月・7月	2		○								
	先輩から学ぶ			先輩の経験談を聞き、自分の進路について考えを深める。			総探		3月	2	○	○	○							
3年	課題研究・課題研究Ⅱ			興味・関心のある事と、社会・世界との関わりを考え、研究を深めて発表する。			総探・課題研究Ⅱ		4月～7月	14 (課研Ⅱ 20)	○	○	○							
	進路ガイダンス			各自の進路希望に沿った具体的な説明を聞くことで進路を更に明確にし、今後の学習に繋げる。			総探		5月・12月	4	○	○								
	地域ボランティアの実施			校外清掃等のボランティア活動を通して、地域に貢献する精神を養う。			特別活動		6月	1	○		○							
	小論文講演会			小論文の書き方を学び、同時に現代社会について考察することで、各自の視野を広げる。			総探		6月・9月	4		○								
	自己探求(学部学科研究・職業研究)			進路別に学部学科の研究内容や職業を詳細に調べ、面接・小論文を通じて進路意識の高揚を図る。			総探		5月～11月	7	○	○								
	自己探求(生き方・在り方)			高校生活を振り返り、まとめることを通じて、生涯にわたる在り方・生き方を探求し続ける姿勢を養う。			総探		10月～2月	3	○	○	○							
									合計時数	165										